



● 草の根パートナー型

平成23年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ラオス
2. 事業名	北部ラオスにおける障害者の社会自立のための就労支援事業
3. 事業の背景と必要性	ルアンパバンを中心としたラオス北部8県において障害者の社会参加は未だ実現せず、様々なバリアが存在し障害者の社会参加に繋がる支援や機会もなく、多くの障害者は家に閉じこもり、家族の庇護のもと暮らしている。障害者の社会統合・社会自立において最も重要なのは、障害者自身が共にエンパワーされ自立の意欲を持つことであり、その意欲を引き出すために必要な支援は第一に「社会参加の機会」の提供、更に経済的自立に向けて起業・就労に繋がる「技能訓練の充実」及び実際に起業に向けての「就労支援」である。ラオス北部において障害当事者の全国組織でもある障害者支援団体のラオス障害者協会（LDPA）が北部の拠点としてルアンパバンに事務所があるものの、経済的自立を目指す障害者を支援するためのノウハウや支援環境を持たず、障害者の声を反映することができていない。障害者が起業・就労するための支援や技能訓練に関わるサービスを既存のLDPALルアンパバン事務所スタッフが担えるよう彼らの能力向上支援に取り組み、ラオス北部の障害者の多くが社会・経済的自立に向けて将来の希望を描くことができるための当事者協働・主体の「働くための環境整備」が早急に望まれている。
4. プロジェクト目標	ルアンパバンを中心としたラオス北部に住む障害者の就労ロールモデルが育成される。
5. 対象地域	ルアンパバンを中心としたラオス北部
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	社会参加・社会自立を目指し就労のリーダー候補になるうる20代～30代の肢体不自由の障害者及びその親、関係者200名（男性150名、女性50名）
7. 期待される成果及び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> ルアンパバンにおいてスポーツを通じ障害者のエンパワメントが促進される。 ルアンパバンにおいて障害者の技能訓練が継続的に提供される。 ルアンパバンにおいて障害者の就労・起業支援が継続的に提供される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> ルアンパバンにおいて障害者のエンパワメントの促進のためのスポーツ事業の実施 ルアンパバンにおいて障害者の技能訓練の実施 ルアンパバンにおいて職業カウンセリングやジョブコーチ等の就労・起業支援を実施
8. 実施期間	2012年7月～2015年6月（3年）
9. 事業費概算額	31,560千円
10. 事業の実施体制	LDPALルアンパバン事務所の3名のスタッフをカウンターパートとし、彼らが就労支援・技能訓練・障害者スポーツ振興の3つの柱のサービスを提供するための能力向上をサポートし、当団体のプロジェクトマネージャーと就労支援専門家及び現地スタッフが技術移転の支援を行う。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 アジアの障害者活動を支援する会（ADDP）
2. 活動内容	ラオスオスの障害当事者及び障害当事者団体へのニーズにあった直接的な支援を中心に、セミナー、障害者スポーツ振興、障害者エンパワメントに寄与するような障害者リーダー育成のための教育プログラム、障害者の社会自立のための就労支援・技能訓練などの支援を行っている。